

**2019年度 認定再生医療等委員会 緊急審査**  
～会議記録～

日時：2019年8月19日（月） 13時00分～13時15分

場所：大学1号館13階 大橋教授室

参加者（敬称略）：

<a-1 委員> 大橋十也（委員長）、岡野ジェイムス洋尚
------------------------------

<事務局> 千田
----------

a-1 委員：医学又は医療の専門家であって再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する

再生医療等提供機関の管理者（東京慈恵会医科大学附属病院長）から学長宛に以下の課題の疾病等報告があり、本学認定再生医療等委員会規程第8条に基づき、認定再生医療等委員会の緊急審査を開催した。緊急審査業務を行う委員として、大橋委員長から岡野委員が指名され審査を行った。

## I 疾病等報告

課題名：悪性神経膠腫に対する腫瘍細胞並びに腫瘍形成細胞と樹状細胞との融合細胞を用いた免疫療法

### 1. 審議内容

【疾病等報告の内容】

「顔面丹毒」により入院加療。

### 2. 審議結果

研究（本再生医療等の提供）を継続して差し支えない

<理由>

元々、アトピー性皮膚炎がある患者であり、搔破行動に伴い感染症を発症した可能性が高く、また、当該再生医療等の投与から3箇月以上経過していることも踏まえると、当該再生医療等の提供との因果関係は低いものと考えられる。よって、研究計画書に従い慎重に経過観察することで、当該再生医療等の提供（本研究）を継続して差し支えないと判断した。

なお、次回開催の認定再生医療等委員会にも当該疾病等報告を行い、改めて委員会として結論を得るものとした。

以上